

# 愛知県豊田市農業委員会（目標地図素案作成に向けた取組）

【農業委員会の体制】（令和5年7月20日任期開始 新制度移行後3期目）

農業委員19名、農地利用最適化推進委員45名、事務局職員7名

## 1 地区の特徴・状況、課題

愛知県北部に位置し、平坦部から中山間部まで変化に富んだ地形にあり、米・野菜・果実・花きなどの生産が盛んで、梨・桃なども県内有数の産地となっている。一方で、農業従事者は60歳以上が8割近くを占めるなど、高齢化が進行し、農業後継者不足が課題となっている。特に中山間地では担い手不足から農地保全が懸念されている。

## 2 課題解決に向けた活動（取組と工夫）

- 豊田市では、地区の実情に応じた最適化活動を推進するため、市内を6地区に分け、定期的に地区農業委員会を開催し、推進委員を主体に意見交換及び情報共有を行っている。
- 目標地図素案については、地区ごとに担い手の有無や農地の利用・整備状況が異なり、市内全体を画一的に進めていくことが困難なため、推進委員が中心となって、地区内の農業関係者等の意見を踏まえながら、地区の実情に応じた進め方を選択し進めている。特に、リーダーシップの取れる人材がいる地区については、地区内の農業関係者等を作成作業に参画させ、当事者意識の醸成にも繋げている。



## 3 活動の成果

- 担い手が明確な3地域については、モデル地域と位置付け、令和4年10月から目標地図素案作成を先行着手し、令和5年7月までに完成させた。
- 上述3地域以外については、モデル地域で効果的であった取組手法等について、各地区農業委員会で情報共有するとともに、令和5年12月までに実施した「農地所有者及び担い手への意向調査結果」を基に、令和6年5月の完成を目指し、目標地図素案作成を進めている。